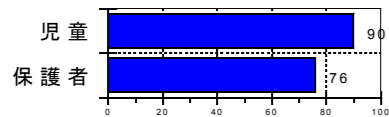


基本的な生活習慣の育成

総合評価（評定）B

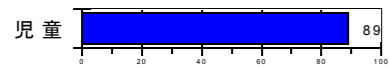
あいさつの徹底



※☆が評価指標の達成度、◎が実施状況

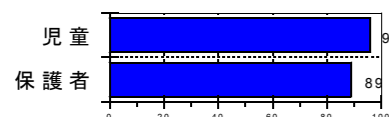
☆アンケート結果からの児童の達成は90%、保護者76%で、達成度に違いがある。
◎常時指導に力を入れた。また計画委員会による校門でのあいさつ運動を行った。

正しい言葉遣いの向上



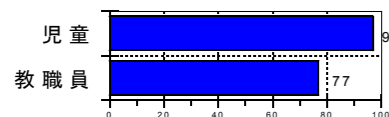
☆丁寧な言葉遣いは児童89%で目標達成。
◎相手を大切に思う気持ちをもって、「～さん」づけで呼ぶことや、乱暴な言葉を使わず話すことを学級や学校全体で指導してきた。

規範意識の向上



☆児童、保護者とも目標を上回っている。年間を通して、廊下を歩くことの徹底を図った。
◎個別に指導を要する家庭には、担任が直接生活習慣改善への協力を求めた。

防災教育の充実



☆避難訓練前後に学級で防災指導を行った。
◎全ての学級で避難訓練と併せて防災指導を実施することができた。

<所見>

○進んであいさつするは、依然として目標を達していない。常時指導と児童の自主的な活動の双方から取り組み進めたい。
○規範意識についても学習・生活のきまりを徹底していきたい。

<学校関係者の意見>

○昔は田んぼや畑で仕事をしていたら、大きな声で「さようなら」などの挨拶が聞こえた。そういう子どもになってほしい。継続することが大切と思う。

<次年度への課題と今後の改善方策>

○あいさつや言葉遣い等の指導を、全教職員で今後も共通理解を図り、教職員自らが率先して働きかけ、継続的に根強く取り組む。
○児童が主体となり、自らの活動でよくなったと実感できる活動を工夫して取り組む。
○スクールワイドPBSを導入し、学校全体でポジティブな行動支援に取り組む。
○清掃時は無言清掃が徹底できるよう継続して指導していく。

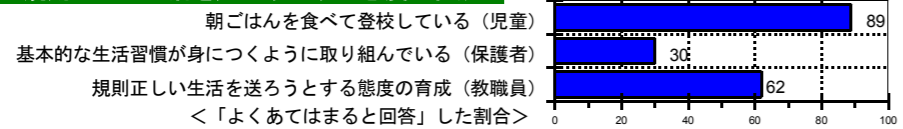


健やかな体の育成

総合評価（評定）B

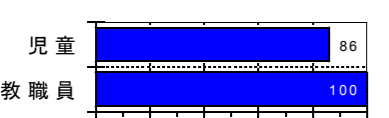
※☆が評価指標の達成度、◎が実施状況

規則正しい生活を送ろうとする態度の育成



<「よくあてはまると回答」した割合>

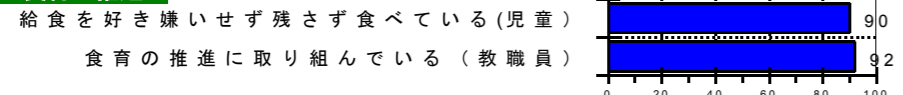
魅力的な体育授業づくりの推進



☆めあてをもって体育学習に取り組み、休み時間もしっかり運動遊びをしていると回答した児童は、よくあてはまるが68%、大体あてはまるが18%であった。14%の児童があてはまらないと回答した。

☆魅力的な体育授業づくりに取り組んでいると会と回答した教職員は、よくあてはまるが23%、大体あてはまるが77%であった。
◎運動の楽しさを味わわせる取り組みができた。

食育の推進



☆「好き嫌いをなくし、食べ残しをしない」が85%以上の評価指標に対し、90%であり、達成できている。

平成29年度 学校評価総括表 課題と改善策

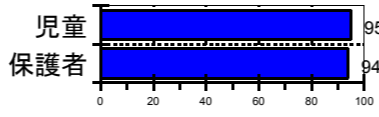
確かな学力の育成

総合評価（評定）B

分かる授業のための授業改善と学習意欲の向上

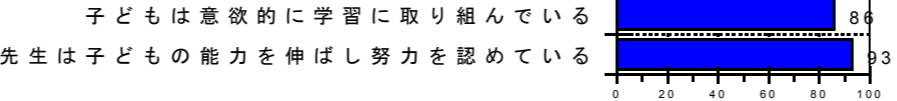
※☆が評価指標の達成度、◎が実施状況

分かる授業の評価



☆「分かる授業に取り組んでいる」の評価指標が85%以上に対し、児童95%、保護者94%であり、達成している。
☆分かる授業の改善は、教職員自己評価が92%であり自己研修に励んでいる。
◎「応神小学習モデル」を基に全校で統一した指導に取り組んだ。

保護者の評価

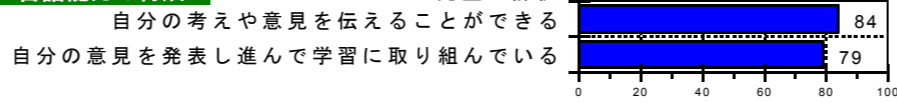


基礎学力の向上

☆スモールステップや繰り返し学習、補充学習などにより基礎学力の向上に取り組んでいると回答した教職員は、よくあてはまるが54%、大体あてはまるが39%。
☆学習の遅れがちな子どもに適切な支援をしていると回答した教職員は、よくあてはまるが46%、大体あてはまるが46%であった。
◎朝の学習や少人数指導による個別学習の充実ができた。

言語能力の育成

児童の評価



☆個人学習やグループ学習の場を意図的に設定していると回答した教職員は、よくあてはまるが23%、大体あてはまるが69%であった。
☆全校読書において席を立たずに時間いっぱい読む指導を徹底していると回答した教職員は、よくあてはまるが85%、大体あてはまるが8%であった。
◎学校全体の読書量を増やすために、家庭・学校での読書記録を継続した。

家庭学習習慣の育成

☆忘れ物がないように気をつけ、宿題はきちんとやりとげていると回答した児童は、よくあてはまるが72%、大体あてはまるが18%であった。
◎家庭学習の手引きや学習の約束の配布、1学期の家庭学習調査による対応等で家庭学習の定着を図った。

<所見>

○個別指導の充実や学習モデルを意識した授業改善にはほぼ取り組めた。
○児童の主体的な学習と言語活動の充実で課題が残る。

<学校関係者の意見>

○自分が好き、友達が好きと思える子どもを育てるためには学力を付けなければならない。応神という地域が好きと思える子どもを育てるためにも、しっかり学力を付けてほしい。

<次年度への課題と今後の改善方策>

○基礎基本の充実と個に応じた効果的な個別指導の工夫に努める。
○「学習モデル」に基づく授業方法の共通化や学習規律の徹底を図る。
○宿題・自主学習調査で明らかとなった課題を基に、家庭学習における「応神小家庭学習モデル」の確立に取り組む。

☆食育の推進に取り組んでいる教職員は、92%である。
◎講師を招き、2学年、4学年、6学年で食育の授業を実施した。

睡眠指導の充実

☆睡眠指導の充実に取り組んだ教職員が92%であり、概ね達成できた。
◎児童への指導とともに、学校だよりやホームページで保護者への啓発を行った。

<所見>

○朝ご飯はほぼ全ての児童が食べている。給食の残食も少なく、引き続き取り組みを進めたい。児童が主体的に運動に取り組めるようさらに工夫していきたい。

<学校関係者の意見>

○外遊びや集団での遊びはとても大切である。休みの日に外で遊ぶ子を見かけることが少なくなってきたのが残念。自分の体や頭を使って遊ぶ楽しさを味わわせてほしいと思う。

<次年度への課題と今後の改善方策>

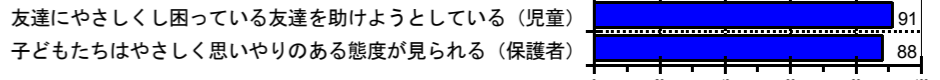
○体育授業での児童の運動量の確保に努める。また、体育関連設備の充実に努める。
○季節に応じた遊びや運動を紹介するなど、休み時間等での運動遊びの活性化に努める。また、全校で食育の指導に取り組んでいく。

豊かな仲間づくりの推進

総合評価（評定）B

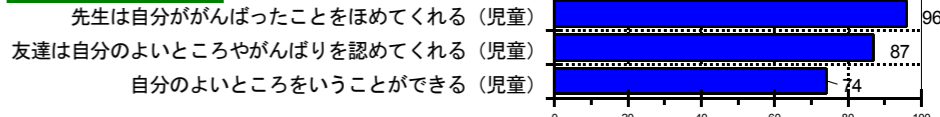
望ましい集団活動の充実

※☆が評価指標の達成度、◎が実施状況



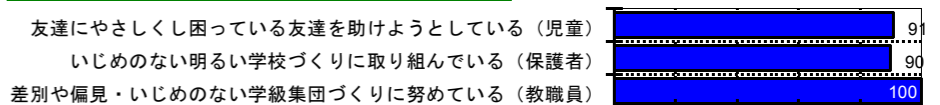
☆「友達に優しく助けようとしている」が85%以上の評価指標に対し、児童91%、保護者88%が達成できたと回答。さらなる向上をめざしたい。
◎絆班活動を年間3回以上実施できた。保育所・幼稚園ともそれぞれ年間2回交流することができた。

自尊感情の向上



☆「自分の良いところがいえる」と回答した児童は、中間アンケートより10ポイント以上肯定評価が伸びたが、74%であり、さらに努力が必要である。
☆子どもの良い行動を積極的に見つけて、クラス全体で紹介していると回答した教職員は、よくあてはまるが46%、大体あてはまるが46%であった。
◎絆班活動や交流学習など具体的な場で良い行いを賞賛し、自尊感情を高めることができた。

いじめの未然防止、早期発見及び早期解決



☆「いじめのない学校づくりができていない」が90%以上の評価指標に対して、保護者の回答（大体あてはまるを含む）が90%であった。目標がほぼ達成できているが、さらに努力したい。
◎道徳の大研3回と全校いじめアンケートを年間2回実施により、いじめの早期発見・早期解決につながった。

将来に向けたビジョンづくりの推進

☆「キャリア教育の充実、将来に向けたビジョンづくりの推進に努めている」と回答した教職員は、92%であった。また、個々の子どもの将来（学年末や将来）に向けた成長目標をイメージしていると回答した教職員は、よくあてはまるが31%、大体あてはまるが69%であった。
◎キャリア教育を推進し、外部講師の出前授業の実施、教育関係施設等の見学などの体験学習の充実を図った。

<所見>

○いじめのない学校づくりや仲間づくりに、全教職員で共通理解を図り取り組んできたが、保護者への周知や当該児童の保護者に対する説明が十分でなかったことがあった。家庭や関係機関とより一層の連携を図りたい。

<学校関係者の意見>

○学校はどのようにしていじめを把握しているのか。気づかずに見過ごしてしまうことのないよう努力してほしい。ラインやネットでのいじめはなかなか把握しにくいと思う。子どもたちへの教育は保護者への啓発が重要である。今後も特別支援教育に力を入れてほしい。

<次年度への課題と今後の改善方策>

○保護者にも自尊感情の大切さを啓発していく。
○子ども同士でよさを見つけ合い認め合う習慣を育てる。
○教師が率先して子どもの頑張りや良いところを賞賛する場面を多くする。
○教師と子ども、及び子ども同士、教師と保護者のよりよい関係づくりに努め、いじめ事案には正確に丁寧な説明を行い、早期解決を図っていく。

学校教育目標

人権尊重の精神を基盤とした、自主的で創造力に富んだ、心豊かでたくましく生きる子どもを育てる

めざす学校像

- 温かな学校
- 活力あふれる学校
- 信頼される学校

めざす子ども像

- 明るくたくましい子ども
- 助け合い励まし合う子ども
- よく学び伸びていく子ども
- 思いやり・協力
- 基礎基本・学ぶ意欲

めざす教職員像

- 使命感をもち信頼される教職員
- 同僚性・協働性のある教職員
- 子どもとともに伸びる教職員

